



こやうらっ子

自分を伸ばす～スマイル～

学校HP koyaura-e.edumap.jp

運動会 ～どんな時も 一生けん命 スマイルで やりきろう～

11月15日（土）に、運動会を開催しました。今年は小屋浦小学校だけで開催する運動会でしたが、吉田町長様をはじめ多くのご来賓のご出席いただき、また、たくさんの地域の方にもご参加いただき、盛大に開催することができました。

「どんな時も 一生けん命 スマイルで やりきろう」のテーマのもと、子供達は生き生きと取り組み、こやうらっ子らしい輝きを見せてくれました。各自の競技や演技はもちろんのこと、友達を応援する姿、係の仕事に打ち込む姿など、胸が熱くなる瞬間に何度も出会うことができました。目の前で見る我が子の成長を誇らしく思われた保護者の方も多かったのではないでしょうか。子供達への温かいご声援、またPTA・地域競技への参加、ありがとうございました。



ボールをつなごう Let's go!



チグハグ～全員毎日主人公～



つないでつないでホールインワン



坂町音頭



ダンシング玉入れ



Fly High ! -高みを目指す-

運動会の開催に際しまして、長寿会の皆様による除草作業、坂町音頭の指導、テントの設営、片付けと、多くの地域の皆様のご協力や地域の皆様に支えていただいているのだと実感し、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



ひろしま教育ウィーク 「学校へ行こう週間」

11月1日から7日までの「ひろしま教育ウィーク」にあわせて、本校では7日（金）に道徳参観日・室内清掃・PTA教育講演会を行いました。今回の授業を含め道徳の授業では、子供達が自分を見つめ、自分の生き方について考えを深められるよう学年の実態に即して指導をしています。お子さんの授業の様子を見ていただくことはできただろうか。



また、授業参観後には、室内清掃で窓拭きをしていただきました。砂と埃で汚れていた窓をきれいにしていただいたおかげで、室内が明るくなりました。準備をしてくださった役員の皆様、清掃をしてくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

最後に、伊勢神社神楽団の皆さんをお招きして、PTA教育講演会を行いました。演目「大蛇」を鑑賞した後、太鼓や笛を演奏したり、お面や衣装を着けたり、演目に使用されていた大蛇を触ったりしました。また、質問コーナーでは、神楽団の皆さんがあなたたちの質問に答えてくださいました。「太鼓や笛をうまく演奏するこつは何ですか?」「舞の時、ぐるぐる回って目が回らないんですか?」など、たくさんの質問が出ました。子供たちは大きく心を動かされる素敵な時間を過ごせたのではないかと思います。たくさんの保護者の皆様、地域の皆様にご参加いただき、大変盛り上りました。ありがとうございました。



地震・津波災害避難訓練

11月5日（水）は「津波防災の日」「世界津波の日」でした。この取組の一環として、緊急地震速報の全国的な訓練が実施され、坂町でも防災行政無線から緊急地震速報の訓練放送が一斉に放送されました。この取組に合わせて、本校でも地震・津波災害避難訓練を行いました。町の訓練放送で安全行動をとり、その後運動場への避難訓練をしました。地震の避難訓練に引き続き、地震後の津波の発生を想定した避難訓練を行い、音楽室へ垂直避難もしました。



また、地震・津波避難訓練の前後で、各学級で広島県から配布された教材「地震・津波から命を守る ひろしまマイ・タイムライン」を活用して、学習をしました。学習後、各家庭に教材を持ち帰っていると思います。各ご家庭でこの教材をご活用いただき、もしもの場合に備えていただけたらと思います。

いつ、どこで起こるかわからない災害に対して、子供達が自分の命を守るために正しい判断と行動ができるよう、これからも引き続き指導していきたいと思います。

人権教室・人権の花贈呈式

10月29日（水）に、坂町民生課の方、人権擁護委員さん、読み聞かせボランティア「にこにこ」の皆様にご来校いただき、人権教室・人権の花贈呈式を行いました。

人権教室では、紙芝居の読み聞かせをしていただいた後、いじめをなくすために自分に何ができるかを全員で考えたり、「人権」「人権を守る」とはどういうことかを教えていただいたりしました。

人権の花贈呈式では、ヒヤシンスの栽培セットをいただきました。ヒヤシンスを大切に育てながら、自分も周りの人も大切にする心が育ってくれることを願っています。



人権教室の後、いじめをなくすためにどうしたら
よいかを考えました。

友達のいいところ
を見つけます。

人を傷つける言葉
づかいはしません。



入賞、おめでとうございます

税に関する絵はがきコンクール

入選 6年 田坂 詞葉

税の標語

坂町教育委員会 教育長賞 6年 奥川 裕陽

けんみん文化祭ひろしま '25 文芸祭（俳句）

入選 4年 谷本 紀花



～ 12月の相談日のお知らせ ～

SSW（スクールソーシャルワーカー）
仁井 恭子 先生 相談日

12月4日（木）・11日（木）・18日（木）【13:15～16:15】

お話を聞いていただくだけでも、子育てのヒントになることがあります。どうぞお気軽にご相談ください。



事前にご予約ください。 窓口：教頭（小屋浦小：☎ 886-8001）

※ SC（スクールカウンセラー）三宅先生の相談日は、「ほけんだより」をご覧ください。

複式だより No. 4

11月7日（金）は、道徳参観、PTA 室内清掃、PTA 教育講演会を行いましたが、これに合わせて来年度複式学級となる2・3年生の保護者の方を対象に複式学級設立に向けての説明会を行いました。

説明会では、校長から複式学級設立の基準、複式学級設立に向けての準備、複式教育のよさなどについてお話をさせていただきました。説明会でお話をさせていただいたことを紹介します。



なぜ、複式学級ができるの？

国の定める複式学級編制基準では「他の学年と合わせて**16人までのときは、1学級編成とする**」と定められています。そのため、来年度3・4年生は児童数が16名のため、複式学級となります。令和9年度の3・4年生も複式学級になる可能性があります。

こんな準備をしています

まずは、教員が「複式教育」について学びました。大学の先生を招いて理論研修を行ったり、広島大学附属東雲小学校の研修会、県立教育センターの講座に参加したりしました。また、児童が複式で学ぶことに「慣らす」計画を立てて、「複式ごっこ」をスタートさせました。2・3年生が同じ教室で一緒に給食を食べたり、一緒に町探検に出かけたりすることから始め、今は同じ教室でそれぞれの担任が自分の学年の子供達と授業をする機会を設けています。



「複式ごっこ」での道徳の授業を
参観していただきました！



全学年で「学習リーダーが中心となって進める授業」にもチャレンジしています。まずは、2・3年生が、先行して取り組んでいる5年生の授業を参観して授業の進め方を学びました。今は、2・3年生も学習リーダーを中心とした授業にチャレンジしています。今後、「複式ごっこ」から「複式の授業」に移行させていきます。2月13日の授業参観は、一人の担任と2学年の児童が同じ教室で異なる授業をする「複式の授業」を行う予定です。

複式教育のよさ

異なる学年が一緒に生活することで、生活面でも学習面でも自然に上學年と下學年の交流が生まれます。上學年の児童は「下學年のお手本」という思いを、下學年の児童は「来年はぼくも」という期待を持つことができます。

ルールを守って落ち着いて生活する力や自ら学ぶ力が身につきます。子供達自らが生活や学習をつくっていくことで、教師は子供たちを見守り、必要なときに最適な支援をすることができます。